

オアシス

医療法人 済恵会 広報誌

2019年 5月



NO.86



- 2P-3P 皆さん初めまして 須藤雄仁医師就任のあいさつ
- 4P 須藤雄仁医師へ突撃質問 23 連発
- 5P 副院長として 副院長 看護師 佐藤明美
- 6P 医療安全訓練報告・安政遠足参加レポート
- 7P TOPICS (6月からのお知らせ)
- 8P 医事課より重要なお知らせ

医療法人
済恵会

須藤病院

安中市安中 3532-5

TEL 027 (382) 3131

介護老人保健施設

めぐみ

デイサービス

さくら

居宅介護支援事業所

こかげ

訪問介護サービス

ひだまり



皆さん初めまして

消化器外科 須藤 雄仁

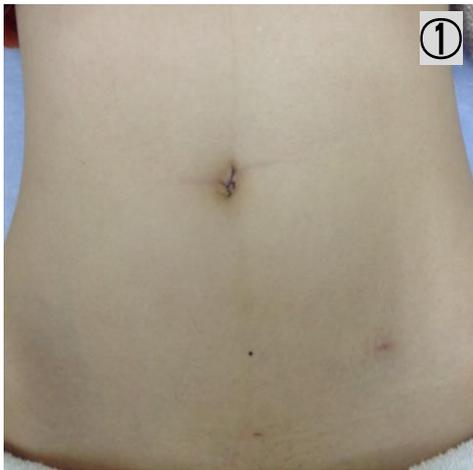
皆さん初めまして。須藤雄仁と申します。2019年5月より消化器外科医師として勤務しております。簡単に自己紹介をさせていただきますと、私は安中育ちで、安中小学校、安中一中、高崎高校を経て、東京医科大学を2003年に卒業しました。卒業後は現群馬大学消化器外科センターに入局勤務し、消化器外科医として今年で16年目の40歳です。

医師としての経歴ですが、群馬大学で研修を終了後、群馬県内、新潟県、山梨県などの病院をローテーションし、10年前に群馬大学大学院で学位を取得した後、さいたま県立がんセンター（2年間）、前橋赤十字病院（3年間）、高崎総合医療センター（3年間）と手術症例の多い急性期病院に勤務し、1000例以上の消化器外科手術（このうち腹腔鏡手術200例）を術者として執刀してきました。また、アメリカ・フィラデルフィアのペンシルバニア大学外傷外科にて、アシスタントプロフェッサーとして2年間の留学経験があります。日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器癌外科治療認定医、難病治療指定医（消化器分野）、臨床研修指導医、外科専門研修指導医などの資格を取得しております。

さて、自己紹介も終わったところで、私の専門、消化器外科についてお話しさせていただきますと思います。皆さんがご存知のように消化器分野の守備範囲は非常に広く、おなかの中のがんをはじめ、胃腸炎、虫垂炎、肝炎、膵炎、胆嚢炎などの炎症性疾患、胃十二指腸潰瘍などの良性疾患、腹部外傷から脱腸、痔に至るまで多くの疾患が専門となります。当院では今までも多くの消化器科、消化器外科の医師たちによりこれらの疾患の診断治療が行われてきました。しかし医学は日進月歩であり、消化器外科分野においても近年数多くの新しい治療法が出てきています。この中で外科手術に関して言うと、ここ20年間での最も大きな変化が、腹腔鏡手術の出現です。おなかに大きな開腹創を作らず、最大12mmのポート創のみで行うこの手術は、整容性に優れるだけでなく術後の痛みも少なく、虫垂炎、胆嚢炎、単径ヘルニア、大腸がんなど多くの手術に適応拡大されております。上記疾患に関しての手術においては治癒率、合併症率に関しても、従来法とほとんど同等の治療成績であることが証明されています。



◀腹腔鏡手術中の様子
一番右で鉗子を操作しているのが須藤医師
3D 内視鏡を使っての手術は、術者全員が黒いサングラスの様に見える3D メガネを着用しております。



◀①虫垂炎術後の腹部

◀②胆嚢炎術後の腹部

当院でも今まで行ってきた開腹手術に加えて、この4月より腹腔鏡手術を導入開始し、皆様良好な経過で喜んで頂いています。もちろんすべての消化器外科手術が腹腔鏡でできるわけではなく、進行がんや高度の炎症例では開腹手術に頼るケース、適応の有無の問題はあります。十分に吟味し、その患者さんに最適な治療を行えるよう心がけています。私の行った手術で、写真①は虫垂炎、写真②は胆嚢炎の手術後の患者さんの写真です(今回許可を得て使わせて頂きました)。大腸がんは正中創が少しだけ大きくなりますが(おへそを含めて3cm程度)、脱腸手術でもほとんど同じ位の傷での手術が可能です。

祖父の代に開業した須藤病院も地域の皆様に支えられ、私で3世代目となりました。70年以上の長きにわたりこの病院に関わり、御尽力頂いたすべての方々に感謝すると共に、この病院を未来につなげ、発展させていく者として身が引き締まる思いです。令和元年の記念すべき年に、皆様にこうしてご挨拶できましたことを非常にうれしく思っております。そして自分が外科医として15年余りの間修行し培ってきた知識や技術を、この地元安中で発揮できる環境を与えて頂けることに感謝します。当院は今後も、一人でも多くの患者さんに寄り添い、病気やケガを治し、有事の際に迅速かつ適切な対応ができる病院を目指し、努力してまいります。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

須藤医師へ突撃質問

1. 医師になった理由

父をはじめ、小さいころから病院で働く先生たちを見て。気が付いたらなっていました。

2. 医師になって良かったこと

月並みですが、病気が治った患者さんに感謝されること。

3. 一番尊敬している人は

沢山いるので一人には絞れません。

4. 趣味

サッカー観戦、飲み会

5. 一番大切なもの

家族

6. 名前の由来

恥ずかしすぎて言えないので院長に聞いてください。

7. 外科の志望理由

手術をする科に憧れて入りました。

8. 医師になって理想と現実のギャップは？

医師の家庭に育ち、こんなものかなと。あまりギャップはないです。

9. 医療関係ドラマで好きなものはありますか？

白い巨塔

10. 医療関係のドラマを見て思うことは？

毎回イベントがあって大変そうだな。

11. 通勤スタイルは？

車

12. 白衣にこだわりは？

シワになりにくいもの

13. 患者さんに言われて嬉しかった言葉

先生、おかげさまで良くなりました。有難うございました。

14. ショックだった言葉

先生お尻にスプレー缶が入ってしまって取れません。

15. 自分が病気になったとき思うこと

明日からもっと患者さんに優しくしよう。

16. ドナーカードを持っていますか？

持っています。

17. 献血をしたことはありますか？

あります。

18. もし医師になっていなかったら何をしていたと思いますか

パイロットを目指したと思います。目がいいので。

19. 口癖はなんですか

思い浮かびません。ないと思います。

20. 自分を動物に例えると

羊

21. 今一番ほしいものは

家

22. 質問に答えてみてどうでしたか

真面目さとユーモアのさじ加減が難しいですね。

23. 最後に患者さんへ一言

まずはお気軽にお声かけ下さい。よろしく願いいたします。



副院長として 副院長 看護師 佐藤明美

皆さんこんにちは。ようやく暖かさを感じられる季節になりました。さて、私はこの4月より副院長を拝命いたしました。これは今までの看護部長という立場を超え、他部署に対しても責任は重大と言えます。そして他職種連携を十分図れるよう調整をしていくつもりです。当院の強みは小回りがきくところですよ。例えばCT・MRI検査も必要であればその場で実施できます。大病院のように予約をして、検査は1週間後ということはありません。私は、看護師だから理学療法士だから検査技師だからという職種の壁を取っ払い、職員全員が一丸となり地域の皆様の健康を支える病院を目指します。専門職の団体ですから、専門職らしく互いに意見を出して患者様の治療に活かしたいと思えます。今年度看護部では正看護師3名、准看護師4名、中途採用の看護師1名の新たな力を迎えることができました。本当にうれしく思います。4月は教育に力を注いでいます。一般社会においても4月は新入職員や部署異動があり、教えること覚えることが沢山あります。看護部も新体制を迎え、問題もあります。しかし一つ一つの教育を確実に行っていけば、必ず戦力になってくれるはずです。今こそ協力し合い、業務改善をするよい機会だと思います。大変だと言っているだけでは何も変わりません。ピンチをチャンスと捉え質のよい医療・看護が提供できるよう、よりよい労働環境を整えたいと思えます。そして自ら前向きな意見を出せる組織を目指します。

「私たちは地域の皆様に支えられ、今日まで参りました。私たちの使命は、人生で最も大切な、皆様の心身の健康を守って行くことです。そして、ともに喜び、ともに楽しみ、時にはともに悲しみ、しかしまた元気を取り戻し、皆様と一緒に充実した人生を歩んでいくことです。常に皆様のすぐそばにあり、頼りにされる病院であり続けたい。」この当院の基本理念を誇示しつつ、新しい働き方改革と他職種連携を推進していきます。今後ともよろしくお願い致します。



医療安全訓練報告

去る3月26日に患者急変時を想定したシミュレーション訓練が行われました。当日訓練があることは職員には伝わっていましたが、急変時を想定した訓練である為、何時何処で何が起きるかはその時までわからない状態で訓練が始まりました。今回の訓練はCT室において造影剤を投与された患者が急変したという内容でした。訓練が開始され検査を担当していた技師が患者の急変に気付くところから始まり、他の職員に助けを求め、緊急コードの発令依頼がされます。緊急コードを受け職員がその場に一齐に集まり患者の急変に対応していくまでの一連の流れが本番さながらの緊張感をもって行われました。訓練ですが様々な課題点が明確になり、急変時マニュアルの補足や見直しをするよききっかけになりました。



安政遠足参加レポート



今年も快晴となりました安中市の一大イベント安政遠足に、初参加の新人職員から数十回参加のベテラン職員までが、記録ではなく完走を目標で総勢27名の職員が参加して参りました。

残念ながら全員完走とはなりませんでしたが沿道からの暖かい声援ありがとうございました。



TOPICS

- 6月より毎週木曜日の午前 9:00~12:00 で内科（**糖尿病専門外来**）が診療開始となります。

担当は武藤荘平医師が行います。

重度の糖尿病コントロールが必要な患者様は受付までご相談ください。

- 当院では、2019年6月1日より、患者様をご入院中に必要とされる「寝巻・タオル類・紙おむつ・日用品」等の取扱を専門業者【株式会社アメニティ】に委託することになりました。導入の経緯としましては、患者様へのサービス向上とご家族への労力負担の軽減を目的としております。また、院内での衛生管理・環境整備のさらなる徹底をさせていただくために導入することにしました。セット内容は、「アメニティセット」（寝巻・タオル類・紙おむつ・日用品のセット）、「紙おむつセット」（紙おむつのみ）、「オプション」（肌着・靴下、ミトン、転倒予防シューズ（販売品）、とろみ剤（販売品）、腹帯（販売品））をご用意しております。

ご案内は院内売店にておこなっておりますのでお気軽にお立ち寄りください。

医事課より重要なお知らせ

令和元年6月1日より
以下の項目の変更があります。
お間違えの無いようご注意ください



- 外来の受付開始時間に変更になります。

現在 8:15 → 変更後 8:30

※診療開始時間 (9:00) に変更はありません。

- 健診センターの受付開始時間に変更になります。

現在 8:15 → 変更後 8:30

※健診センター入口は8:30に開きます。

- 健診は**予約した順番**で健診を行わせて頂きます。

※当日の受付順ではありませんので、8:30~8:45の間に受付をお済ませ下さい。

- 人間ドック・特定健診に伴う**個別検診**（乳がん検診・結核検診等）は**予約時**にお申込み下さい。

※当日に追加される場合は、健診が終了後に個別検診を行いますのでお待ち頂きます。

- 事前に予約票を病院受付窓口まで取りに来て頂き、ご自分で**記入した受診票**と**シール**を当日必ずお持ちください。